

サマーワークショップ 1 日体験 世界の食糧問題を解決する国際農学系

食や農のグローバル化が進む今、農学を学ぶことがどのように役立つのか、その必要性や可能性が理解されているとはいえません。また、農学が生活に密着した学問であるという認識も薄いのが現状です。

世界の食糧問題解決を目指す研究者のレクチャーを聞き、それに関連した実験をしましょう。アジア・アフリカからの留学生と英語で話をしてみましょ。農学が解決しようとしているトピックスについて理解を深め教員や院生、農学分野で活躍する若手社会人との触れ合いを通じて、大学卒業後のキャリアパスを具体的に描き、進路を考えるきっかけをつかむワークショップを提供します。保護者の方もぜひご参加ください。



開催日時：2016 年 8 月 28 日(日)10:00~15:00

参加対象：中高生およびその保護者

会場：東京農業大学世田谷キャンパス 1 号館 221

スケジュール：

10:00~10:40 レクチャー重要熱帯イモ類であるヤムイモの研究を行う教員によるレクチャー「ヤム研究で途上国の食糧生産性向上を目指す」(国際農業開発学科助教：パチャキルバビル)

10:40~11:20 サイエンスカフェ来日中の留学生の英語による研究内容の説明や将来計画を聞いてみよう(日本人在学生による通訳)。

11:20~12:00 憧れトーク①現在の仕事の内容と大学での学びがどのように繋がっているかなどについて、JICA、全農や種苗会社などで活躍する卒業生から直接話を聞き、中高生同士でも将来を話し合います。

12:00~13:00 昼食

13:00~14:30 目指せフィールド研究者 レクチャーの主題であるヤムイモについて、品種の簡易的見分け方の修得、さらに、ヤムイモ DNA の観察などをおこない食糧生産を支える農学研究の魅力を実感します。

14:30~15:00 憧れトーク②現在の仕事の内容と大学での学びがどのように繋がっているかなどについて、開発コンサルタントや農業系ベンチャー企業などで活躍する卒業生から直接話を聞き、中高生同士でも将来を話し合います。

お申し込み・お問い合わせ先：東京農業大学 国際食料情報学部 国際農業開発学科

mami-o@nodai.ac.jp (件名をワークショップとして氏名をご記入の上、お送りください。)

締め切り：2016 年 8 月 8 日(月)



イネの病気の研究をする大学院生



顕微鏡観察手法の習得